

たつの市臨時記者発表資料	
発表年月日	令和3年3月4日（木）
担当課	教育事業部歴史文化財課 龍野歴史文化資料館
電話	0791-63-0907

報道機関各位

## 法然上人ゆかりのお寺「浄運寺」 阿弥陀如来像胎内に謎の仏さま！

浄運寺（たつの市御津町室津）の本尊阿弥陀如来立像をエックス線撮影した結果、胎内に仏像が確認されました。貴重な検査結果であり、下記のとおり報道関係者の皆様に情報提供します。

### 記

#### 1 確認された仏像

浄運寺本尊・阿弥陀如来像（像高 78.8 cm。鎌倉時代中期から後期。快慶派仏師の製作と思われる）の胎内に一木造の阿弥陀如来像（約 18 cm・江戸時代に入れられたと思われる。ぼんやりと小さな顔が見える）と小さな球状の物体が確認できました。

#### 2 経緯

「光学的方法による快慶並びに周辺作品の調査プロジェクト」（2017年からWunderman Thompson Tokyo 合同会社と株式会社 WITHSOL の委託・協力を得て、多摩美術大学 青木淳研究室が行ったプロジェクト）において、約3年間をかけ快慶並びにその周辺作品に関するエックス線撮影による調査が行われました。

この調査の一環として2018年3月10日～14日、室津浄運寺の阿弥陀如来像のエックス線撮影を行った結果、この小さな仏像が新たに確認されました。

同プロジェクトによる一連の調査結果は、NHK スペシャル「運慶と快慶 乱世が生んだ美の革命」（2019年）で紹介され好評を得たが、本件の検査結果の報告は番組内で紹介されなかった部分となったため、この度発表します。

#### 3 意義

後世の修復の際に胎内に仏像が確認され、今回は球状の物体が合わせて確認された点は、子供とその遊戯具である鞠を想像させるものである。

浄運寺は中世に法然上人が、この地にいた遊女たちに説教をした場所として知られる霊跡。この女性たちにゆかりのある寺院に伝わる仏像の胎内から、もう一体小さな、まるで赤ちゃんの仏像のような物体が確認されたことは、寺院及び港町室津の歴史的環境を改めて見直すことになるので興味深い。

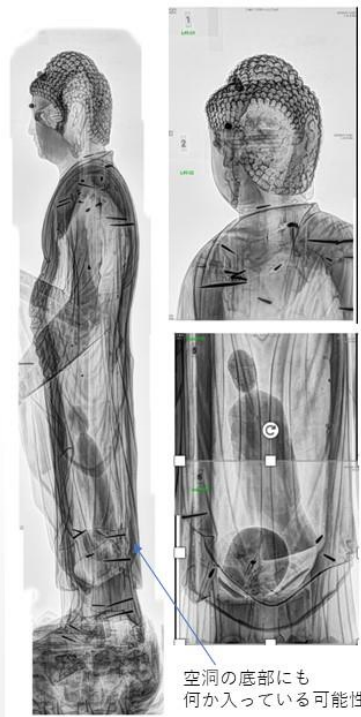
#### 4 公開

浄運寺の参拝はできますが、阿弥陀如来像の一般公開の予定はありません。

浄運寺 阿弥陀如来立像 構造的には鎌倉時代中期から後期の快慶派仏師の製作と思われる



浄運寺 阿弥陀如来立像(像高 78.8) エックス線写真



江戸時代に納入されたと思われる仏像と謎の球体

空洞の底部にも何か入っている可能性